



## 組織の活動紹介

県内で取り組む組織の活動について紹介します。

### ◇川中子3区農地維持組合（上三川町）：「地域営農ビジョン」を策定

本組織は上三川町の中部に位置し、面積約18ha、構成員13名の比較的小規模な組織です。「自分達で地域を守る」という強い思いのもと、営農組合を作り、トラクターやコンバインなどの農業機械を共同利用しながら活動に取り組んでいます。

昨年度はモデル地区として「地域営農ビジョン」を策定しました。地域内での話し合いの前にアンケート調査を実施し、高齢化による営農形態の検討や農業機械の老朽化といった課題が見えてきました。それらを踏まえ、集落営農組織の設立や老朽化した機械の適正な点検・整備などの10年後に向けた目標をまとめることができました。

今回策定したビジョンを基に今後も情報を交換し、目標に向かって少しずつ前進していきたいと考えています。



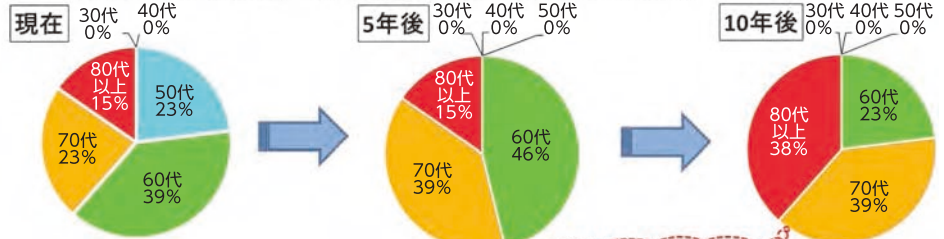
地域営農ビジョン策定風景

#### アンケート結果より

#### ○年齢構成は？

(現在 平均年齢67歳)

このままだと平均年齢67歳+10歳？



回答者数=13

全員65歳以上の高齢農業者！！

### ◇北和田環境を守る会（那須塩原市）：「スイセンロード」の看板を作成

本組織は那須塩原市の東部に位置し、資源向上活動において、遊休農地を活用したそば作りや、水を張った田んぼでの生きもの調査などを行っています。

また、別の集落で畦畔にスイセンが咲いている様子に感銘を受け、「私達の地域も美しい景観を作ってみよう」との思いから、景観形成活動の一環として、新たにスイセンの植栽を始めました。

花の種類を濃い黄色で統一し畦畔に段々に植えることで、花がより鮮やかに見えるような工夫もしています。「植えてすぐには咲かないだろう」と考えていましたが、次々と花が開き手応えを感じています。

この取組を多くの方に広めるため愛称を「スイセンロード」とし、看板も今秋設置予定です。まだまだ見応えに欠ける部分もありますが、地域に彩りが添えられるよう力を入れていきたいと思ひます。



## 多面的機能支払交付金の活動組織による災害復旧活動

昨年度は台風19号の被害により、県内の農地や農業用施設等が甚大な被害を受けました。比較的小規模な災害復旧にあたっては、本交付金を活用した施設の補修や応急措置などが行われました。

### 【本交付金により対象となる活動】

- 農地維持活動の取組のうち、異常気象後、農用地、水路、農道及びため池等に障害が生じるような状況である場合、農用地等に堆積した土砂や流木等の撤去など、必要な応急措置が可能です。
- 甚大な自然災害の被災地域においては、活動組織は応急措置に加えて、農地周りの施設の小規模な被災箇所の補修や更新等に本交付金を重点的に活用できます。

#### 実施例 用水路に堆積した土砂等撤去

大平東部環境保存会  
(栃木市)

栃木市瑞穂地内の  
3地区で実施



活動中



活動後

## 統計から見る栃木県の実力

知ってるようで意外と知らない、本県の全国順位を見てみましょう!(主に農産品)

品目	収穫量等	全国順位	シェア	備考
いちご	25,100トン	1位	15.3%	H29
陸稲	377トン	2位	21.7%	H30
二条大麦	31,000トン	2位	25.5%	H30
にら	9,970トン	2位	16.7%	H29
乳用牛(飼養頭数)	51,900頭	2位	3.9%	H30
生乳(生産量)	335,957トン	2位	4.6%	H29
六条大麦	4,800トン	3位	12.3%	H30
そば	1,920トン	3位	5.6%	H29
青刈りとうもろこし	194,700トン	3位	4.1%	H29
日本なし	19,000トン	3位	7.7%	H29
シクラメン(鉢もの)(出荷量)	1,020,000本	4位	6.3%	H29
あゆ	310トン	4位	7.6%	R1
さといも	9,170トン	5位	6.2%	H29
はくさい	24,400トン	5位	2.8%	H29
にじます	284トン	5位	5.9%	R1
多面的機能支払交付金の取組面積	41,854ha	14位	1.8%	H30
多面的機能支払交付金のカバー率	40%	28位	—	H30

農林水産省より



本交付金の取組についても全国上位を目指すま!



## 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「3密」を避ける等「新しい生活様式」を取り入れ実践することが必要になります。

そのため、以下のことに注意して活動しましょう！

### 活動前に

- できるだけ大人数にならないように活動の計画を立てましょう。
- 感染者が出た場合の対応や連絡体制を事前に準備しましょう。
- 草刈機やヘルメットなど活動に使用する道具の消毒をしましょう。



### 活動当日

- 参加者の検温や体調状況の確認を行いましょう。
- 作業間隔を広く取るなど「密」にならないようにしまししょう。
- 熱中症対策でマスクを外す場合は、人と十分な距離を確保しまししょう。



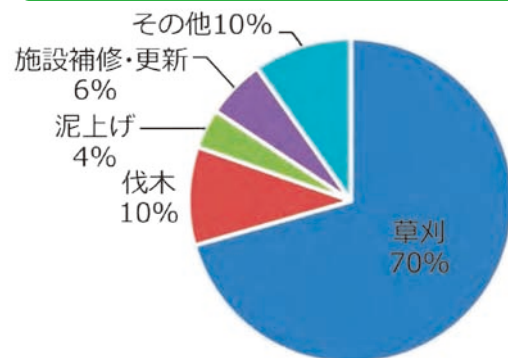
## 安全管理の徹底について

多面的機能支払交付金の事故は年々増加傾向にあり、**昨年度は栃木県内でも死亡事故が発生**しているので、改めて安全管理の徹底をお願いします。

### 事故の傾向

- 危険な場所の確認不足や複数人による安全な作業体制がとられていなかったことが原因で、死亡事故や重大な事故が発生しています。
- 草刈り作業中による事故が全体の過半数以上です。
- 雑木伐採時における車両等機械操作中に多く発生しています。

#### 令和元年度活動項目別の事故発生割合



農林水産省より

### 事故防止のために

- ◇活動前日までに、現地の下見、打合せ、緊急連絡先の確認を必ず行いましょう。
  - 特に、**危険な箇所（急傾斜地や窪地、ぬかるみ、段差、危険な動植物など）**のチェックを行い、危険物の除去や危険箇所をわかりやすく表示しましょう。
- ◇活動を行う前に、必ず保険に加入しましょう（交付金による支援の対象になります。）
- ◇活動に当たっては、参加者一人一人が事故防止の意識を持つことが大切です。
  - 草刈作業では安全装備（ヘルメットや防護メガネ、手袋、長靴など）を装着し、声掛けを行いながら適切な距離を取り、作業に取組みましょう。



# 農村 わくわくスマホラリー

スマホでスタンプラリーに参加しよう♪

のぼりが  
目印



ラリースポットをめぐって豪華賞品をもらっちゃおう！（年間で2回開催）

【第1回】令和2年6月19日（金）～令和2年8月31日（月）

【第2回】令和2年10月頃開催予定

県内農村地域の魅力的なスポットや隠れた名所をめぐってスタンプを貯めよう♪スタンプ数に応じ、抽選でうれしい賞品が当たります♪



## 県協議会からのお知らせ



### 県協議会の代表者変更について

栃木県土地改良事業団体連合会会長である大久保寿夫氏が令和2年7月30日付けで理事を退任したことに伴い、規約第7条第2項の規定に基づき、令和2年7月31日より以下の通り代表者が変更となりました。

**会長 高橋 勇丞**  
(栃木県土地改良事業団体連合会 会長職務代理者 副会長)

### 「田んぼまわりの生きものマップ」コンテスト 「とちぎの豊かな農業・農村づくり」写真コンテスト 開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、熟慮した結果、本年度の開催については中止させていただくこととなりました。既にご応募を検討いただいていた活動組織の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



### 活動組織の取組みをパネルで紹介しませんか!?

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を目的として、様々な活動を行っています。地域住民の方々への理解・促進を図り、積極的な参画を呼びかけるため、当該地域における活動風景の写真をパネルで紹介しましょう！

県協議会では活動組織の広報活動を支援するため、パネルを作成しますので、お気軽に協議会までご連絡ください！

また、公民館や道の駅、イベントなど展示スペースの情報もお待ちしております。

